

もったいない運動を推進しています

現在、地球温暖化が危惧され、燃料費高騰が問題となっておりますが、温室効果ガスを減らし、燃料費を節約していくには、なんといいまでも「もったいない」の心がけが最も効果的です。皆さん、「もったいない」を合言葉に、今日から実践しましょう。

もったいない30の実践

【水】

- ①水道は、出しっぱなしにしないようにしましょう。
- ②油や生ごみは、排水に流さないようにしましょう。
- ③風呂の水は、洗濯に利用し、洗剤は適量を使用しましょう。

- ④台所では、水切りネットを使用しましょう。

【自然】

- ⑤身近なところに花を植えましょう。
- ⑥行楽でのごみは、持ち帰りましょう。

【エネルギー】

- ⑦使わない部屋の照明は、消しましょう。
- ⑧コンセントを抜き、待機電力を減らしましょう。
- ⑨見ているテレビは、消しましょう。

- ⑩夏のクールビズ、冬のウォームビズに努めましょう。

【自動車】

- ⑪近い場所には、車ではなく徒歩や自転車を利用しましょう。
- ⑫アイドリングストップに努めましょう。

【ごみ】

- ⑬特殊な紙を除いて名刺大以上の紙は、捨てずにリサイクルしましょう。
- ⑭古着は、燃えるごみではなく資源として出しましょう。
- ⑮ごみは、できるだけ出さないうように努めましょう。
- ⑯ごみの分別は、確実にに行いましょう。

【食品】

- ⑰生ごみを堆肥化して、リサイクルしましょう。
- ⑱食べ残ししないよう、料理は食べられる量だけ作りましょう。

- ⑲使い捨て用コップ、皿はなるべく使わないようにしましょう。

【容器包装】

- ⑳過剰包装を断りましょう。
- ㉑買い物には、マイバッグを持参しましょう。
- ㉒再利用できる容器の使用を進めましょう。

【買い物】

- ㉓フリーマーケットを活用しましょう。
- ㉔洗剤やシャンプーなど、詰め替え品を買きましょう。
- ㉕エコマーク入りの環境に優しい商品を買きましょう。
- ㉖買い物は、必要なものだけ買しましょう。

【全般】

- ㉗捨てる前にもう一度考えましょう。
- ㉘壊れた物でも、できるだけ修理して使しましょう。
- ㉙できる限り、地元でできたものを利用しましょう。
- ㉚先人の技や知恵を学び、生かしましょう。

- ㉛できることから、できる範囲でお取り組みください。

◎問い合わせ:

生活環境課環境衛生係
☎(55)5103



「食」歴史文化」を求め、自分を意識して、効率よく多くの地域や国を訪問したい。一ヶ所や二ヶ所にのんびり滞在したい。まちなかや農山村を歩いてその地ならではの体験や交流をしたい。周遊型から《滞在型》へ旅行スタイルが、大きく変化しております。

こうした中で、地域の幅広い産業の活性化と交流人口の拡大による地域の発展を図るために、二本松市と福島市、伊達市、相馬市の四市が連携し「やさしさと自然の温もり・福島観光圏」をテーマに魅力ある観光地づくりを目指して、「観光圏」を設立いたしました。

この圏域は、磐梯朝日国立公園から太平洋、浜通りに位置し、山から海まで多

様性豊かな自然を包括している地域でもあります。

安達太良山、日山、羽山をはじめ、岳温泉、あだたら高原スキー場、霞ヶ城址公園や智恵子の生家等、多くの史跡や観光地もあります。

年間をとおした花観光や温泉郷めぐり、ウォーキングや登山、スキーなどの山岳観光、四季折々のくだもの狩り、農業体験や漁業体験、海釣りなどが楽しめます。また、食の楽しみとして、海の幸、山の幸を堪能できる「ふくしまの食」がブランド化できます。

文学、芸術、文化など、多方面から、新しい体験型観光が展開できます。

観光地間の連携や地域の幅広い産業間の連携、国・地方公共団体・民間の連携を促進して「子どもからお年寄りまで旅を楽しめる」、観光客が二泊三日以上滞在できる満足度の高い魅力ある観光地づくり、「いつまでも住んでいたい、いつか住みたい、美しい二本松」を創造してまいります。